

Graduate & Student

『この場所から、新しい未来へ』

社会で活躍する東京医科歯科大学の卒業生と、学生が語り合う対談コーナー。

今回は、大学卒業後に口腔外科を専攻し、現在は国内外で解剖学者として活躍している

先輩が、歯学部の後輩に向けてエールを送ります。

命に関わる部分に触れた経験が
医療人としての礎につながる

松村 僕は、将来の分野として口腔外科に興味があります。岩永先生が口腔外科を学ぶようになった経緯を教えてください。

岩永 大学を卒業して2年間、福岡県の久留米大学病院で口腔外科の臨床研修を行った後、地元の佐賀で父親が開業していた歯科医院を継ぎました。しかし、どうしても口腔外科に対する強い思いを断ち切ることができず、再び久留米大学に戻って勉強を続けさせてもらいました。

松村 開業している歯科医院で診療を行いながら大学で口腔外科を勉強するのは大変なことが想像できます。モチベーションは続いたのでしょうか。

岩永 自らの意志で口腔外科を勉強したいと思って大学に戻ったわけですから、何があっても絶対に自分で責任を取ろうと心に誓っていました。だからこそ、どんなことでも乗り越えられたのだと思います。それから10年以上経ちますが、その気持ちは今も変わっていません。

松村 確か2年生のときだったと思います。が、早期臨床実習で荏原病院に見学に行った際、白板症の生検に出すためのオペを見学させていただき、不安そうな患者さんに優しく接している歯科医師の先生方の姿を見て憧れを抱きました。また、口腔外科は

ので、仕事の幅が広がりました。またアメリカはドクターとしての業務が決まっているので、自分が本当にしたいことに集中できるのは、あの国の強みだと思っていますね。

松村 反対に大変だったことはありますか。

岩永 英語ですね。日本にいたときから論文を通して読み書きを中心に自分の専門領域に関する英語は比較的勉強していたのですが、いざ渡米すると、会話には本当に苦労しました。ですから、若いうちに海外にショートステイして、自分の英語力や今後必要なスキルを認識し、磨いておくと思いいます。

松村 言語の問題や働き方などは日本と異なる点があり、越えなければならぬハードルは多いと思いますが、それ以上のメリットがあることが分かりました。今回、さらに海外への思いが強まりました。

自身の可能性を広げるために
さまざまな人と会ってほしい

松村 研修を終えたら大学院に進学したいと考えているのですが、口腔外科に進むためにはどの分野を選べば良いと思われますか。

岩永 本学の口腔外科であれば、顎顔面外科学分野または顎口腔腫瘍外科学分野になると思います。私が今後、大学院生の受け入れを考えている口腔顎顔面解剖学分野も良いですし、他大学の研究室に進むのもありだ

歯科の中でも特に命に密接した分野なので、一人でも多くの患者さんを救うことができればと思います。口腔外科の道を考え始めました。先生が口腔外科を選択して良かったと思うことは何ですか。

岩永 久留米大学病院での臨床研修では、命に関わるような重い疾患のある患者さんと日常的に接する経験から、口腔外科は歯科でありながら医科と全く変わらない世界なんだと強く感じました。また、人の生死に関わる仕事をすることで、私の医療人としての礎ができあがったと思っています。口腔外科は、歯科医師でありながら人の命と向き合うという意味では、非常にやりがいのある分野だと思っています。

と思います。また、口腔外科ががんの治療を行うときは必ず病理学が関わってきますし、分野を超えて関連する領域を研究しておくのも良いかもしれませんね。

松村 学生時代に、これだけはやっておくべきだということはありますか。

岩永 自分がしたいことや夢、というものは、自分が知っていることか、もしくは絶対に生まれてこないと思うんです。ですから、医療分野に限らず、さまざまな人と積極的に会い、話をして、どんな知識や興味の幅を広げていってほしいと思います。

松村 もし僕がアメリカにいる先生を訪ねたら会ってもらえますか？

岩永 喜んで！ そのときはスケジュールを空けておきますので、どうぞいらしてください。



東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔顎顔面解剖学分野 教授

岩永 譲 Joe Iwanaga

2007年東京医科歯科大学歯学部卒業。2009年岩永歯科医院院長、2011年久留米大学医学部歯科口腔医療センター助教、2013年同大学医学部解剖学講座 肉眼・臨床解剖部門兼務、2016年Seattle Science Foundation、2019年Department of Neurosurgery, Tulane University School of Medicineに所属し、2022年7月より現職と兼務。



歯学部歯学科5年生

松村 勇佑 Yusuke Matsumura

福岡県生まれ。実家は祖父が開業して間もなく50周年を迎える松村歯科医院。父親も兄も歯科医師という環境の中で育ち、自然と同じ道を目指すようになる。岩永譲教授の本学就任後初となった講義「頭頸部臨床解剖」に興味深く受講。将来は口腔外科医として海外で活躍することを視野に入れている。